

# S A・ネット大阪ニュース 第5号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://sanetosaka.hp.infoseek.co.jp>  
〒560-0083 豊中市新千里西町2丁目1-1-1408 TEL・FAX 06-6836-5568

5月23日午後2時より、大阪市北区「大阪ボランティア協会」にて、第3期定時総会がご来賓に大阪府介護支援課 富山課長補佐、(財)大阪府地域福祉推進財団 草川理事長のご出席を頂き開催されました。総会議長には、国際交流事業部運営委員の一井謙三氏が選出され、議事が進行されました。

## ◆◆第3期事業報告◆◆

第3期事業報告について、次の如くに報告され承認されました。

### 1. 事業概要報告（事業期間：平成20年4月1日～平成21年3月31日）

【報告：理事長 永田 得祐】

第3期は、国の内外で大きな変化がありました。その象徴的なものとして「変化（チェンジ）」をキーワードとして米国史上初の黒人系オバマ大統領が誕生しました。

又、経済の面でも米国発の世界同時不況の中で、日本も100年に一度の大不況に直面しています。

私たちの母校である大阪府高齢者大学が20年7月の府議会で廃止が決定、新たにNPO法人大阪府高齢者大学校を設立し、講座継続に関係諸団体が協力し取り組んだ結果、565名の受講者で本年4月からスタートすることが出来ました。

このような状況下で私たちは堅実経営をモットーとし、全事業部門ともに黒字経営を実現、法人全体としては、経常収入1,861,067円、経常収支差額94,181円を計上することが出来ました。

第3期の主な事業として下記の事業を実施しました。

#### ① 公開講座の実施

4月7日 アクティブシニアがあふれる大阪構想事業として大阪府・(財)大阪府地域福祉推進財団・大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会と共催で「シニアボランティア活動スキルアップ講座」を開催しました。参加者 80名

#### ② 広報活動

- ・7月に、ホームページのトップページをリニューアルし、事業実施状況と各種事業計画をより見やすくしました。
- ・広報紙「SAネット大阪ニュース」は、第2号を20年6月、第3号を20年10月、第4号を21年2月に発行しました。

#### ③ 11月8日(土)大阪府庁舎にて開催の「アクティブシニアフェア2008」に企画段階から実行委員会に参画し、協力出品しました。

④ N P O 法人大阪府高齢者大学校の設立準備段階から参画し、理事として2名（永田・武内）監事1名（三田）就任。又、広報部スタッフとして3名（西川・大川・矢原）が参加し、HPの立ち上げと管理運営に協力中。

S A 関連講座の継続活動に取り組み、2講座に集約してカリキュラム編成と募集要項作成。

⑤ シニア活動支援センター（福社会館内）の運営に参加協力し、活動拠点として活用。

⑥ 理事会の開催 8月を除いて年11回開催。開催場所大阪ボランティア協会

⑦ 反省事項

「魅力あるイベント」の企画力の向上と会員の増加については、残念ながら目標を達成出来ず次期への持ち越し課題としたい。

## 2. 事業部活動報告

### 1) 大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業

【報告：理事 石井 定雄 事業部長】

大阪府立介護情報・研修センター（大阪府茨木市大住町）で福祉用具説明サポート事業を財団法人 大阪府地域福祉推進財団より平成17年6月より受託していました。受託事業経緯は、財団法人 大阪府地域福祉推進財団からS A 連絡協議会への委託事業でありましたが、特定非営利活動法人 シルバーアドバイザー・ネット大阪を平成18年9月に設立しました。当法人設立に伴い委託契約書の受託主体を当法人名に変更しました。福祉用具説明員サポート事業は3年10ヶ月を経過しました。スタート時は、37名で 現在は53名で、火曜日～日曜日の6日間（月曜日は休館日）輪番で執務をしています。

#### ◇ 福祉用具説明サポート受託業務内容

- ・一般業務常時窓口対応（但し介護相談は、センター職員が対応）
- ・展示品の整理・整頓（電動車の充電確認、展示品の安全確認）
- ・一般来館者および団体見学者に展示品の説明
- ・大阪府立介護情報・研修センターが実施する介護講座の案内文書、チラシ発送作業
- ・福祉介護用具展示品は、年3～4回 展示品がモデルチェンジされるため新展示の説明会が開催され、福祉用具説明員は新展示品の機能と性能をよく熟知しておかなければならないため、新展示品の説明会に参加して説明方法をロールプレイングする。
- ・定期的に、福祉用具説明員と大阪府介護情報・研修センターと連絡全体会議を実施する。

#### ◇ 本年度の業務

受託業務内容以外に家庭介護講座を開催しました。

家庭介護講座『自助具の活用 片手で編める編み機の体験』講座を開催しました。

講座実施日 ① 平成20年11月27日（木）13：30～16：30

② 平成20年12月11日（木）13：30～15：30

募集定員 各回 10名 応募者多数ありましたが先着順位で締め切りました

平成20年9月6日(土)大阪府立介護情報・研修センターが福祉用具特別展・2008『明日への介護 みんなの介護』を開催。シルバーアドバイザー・ネット大阪は、「福祉用具特別展」に協賛しました。

福祉用具説明員サポート事業部と、おもしろ算数教室事業部が、参加出店をしました。福祉用具説明員サポート事業部の自助具の活用「片手で編める編み機の体験コーナー」は、好評でした。

#### 団体見学対応実績(平成20年4月1日～平成21年3月30日)

大阪府下社会福祉協議会	3	大学(専門福祉課程)	9
他府県社会福祉協議会	1	福祉介護専門学校	12
大阪府下地域福祉委員会	3	大阪府下高等学校	7
他府県地域福祉委員会	1	他府県高等学校	2
大阪府下民生児童委員会	5	中学校	3
他府県民生児童委員会	3	大阪府下ボランティア グループ	9
		企業	5
		計	63

団体見学に来館されましたグループは、様々な各種団体、大学福祉専門学部学生、福祉介護専門学校学生、中学校学生等で見学者のニーズに合わせて説明をしています。各種団体から礼状を頂いています。

## 2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業

#### 【報告：副理事長 三田 進一 事業部長】

大阪府下の各団体・施設等が主催するイベントに、日本の伝承手づくりおもちゃの手技を通じて、子どもたちや若い親たちと三世代交流を深めることが出来た。昨年のニッセイ財団に代わり、大阪府福祉基金より助成金を受けることができ、従来の派遣依頼によるイベント参加や、教室開催だけではなく、今年度は、自主的な「教室」開催を目論み、大阪市天神橋筋「ぷらら天満」2階での「おもちゃ教室」を9～11月の3ヶ月間、シリーズ化して開催した。(月1回 第4土曜日)子どもたちにも好評で尻上がりに参加人数もふえ、手ごたえを感じた。また、大阪府高齢者大学校開校に伴う関連イベントで大阪市港区「八幡屋公園春まつり」に参加。更に他の「おもちゃづくりグループ」と交流ができるなど、新しい展開が期待できる素地が出来つつあることを実感した。

昨秋開催の「アクティブシニアフェア2008」では、おもちゃ展示だけであったが、それを見学した地方自治体職員企画で、今期、地元イベントに出演することに決まったなど徐々にPR効果も表れてきたと思われる。

通期開催 18回 延20日 SA参加人数 延124名 来場者数 延1313名  
(展示見学者は除く)

教材読本(手づくり伝承おもちゃ読本)頒布実績 141冊

### 3) おもしろ算数教室事業

【報告：理事 二葉 登代子 事業部長】

- 【内 容】** ① 算数マジック・算数パズル・百升計算等を通して、楽しみながら
- ・小学生を対象としては、論理的思考力、根気よく物事に取り組む力や、基礎計算力を身につけることを目指し活動した。
  - ・高齢者を対象としては、脳の活性化を図ることを目指し活動した。
- ② この教室運営のために「サポーター養成講座」を開講した。
- ③ サポーターが、「おもしろ算数パズル塾」を実施し、成果を上げた。
- ④ サポーター会を開催し、特に、大阪府高齢者大学校の講座に向けて、サポーターと協働で、実施準備に当たることを確認した。

**【講 座】** 開催場所：大阪ボランティア協会 会議室等

- ① 「おもしろ算数教室」初・中・上級コースを、下記日時に実施した。  
4, 9, 10, 11月と21年2, 3月に、各月の第2・第4金曜日
- ② 「サポーター養成講座」を5月と12月に実施した。
- ③ 初級の申し込みは、10～13名と少数であった。(定員は30名)
- ④ この講座を受講し、明るい表情をするようになった方もおられる。

**【出前教室】** 守口市等の地域包括支援センターからの要請により、高齢者向けの介護予防室において、取り組み、好評を得た。

### 4) 国際交流事業

【報告：理事 出口 恭一 事業部長】

今年度は、国際交流事業部として活動を開始して満2年目で、SA 国際交流専攻コースの各期の修了生代表により構成されていましたが運営委員に広く他の SA 専攻コースのメンバーや一般の方からも運営委員として就任いただき毎月開催の運営委員による会議にて事業を計画し実施して参りました。

その結果、初年度の問題点を解明し、日々、増加する在留外国人との共生をスムーズに実施できるよう多くの国民に外国人の習慣や宗教的な知識を習得して貰えるようなセミナーを開催しました。特に大阪大学の Dr.ベバリー アン山本先生に「留学生の今」というテーマで御講演をいただき、また実際に大阪大学で学んでいる留学生達と参加者全員がグループに分かれて、種々の質疑応答を重ねて有意義な時を過ごせました。

また新しい試みとして英語落語を開催しました。英語の解らないという人達も、アンケートによく解ったし楽しかったと記載いただいております、全般的に大変、好評を博しました。

### ◆ ◆第3期収支決算報告と監査報告◆ ◆

第3期収支決算報告は、大武佐世子会計担当より報告され、監査報告は、佐藤宏一監事より報告されました。この報告の採決に入り異議なく承認された。(決算報告：HP 参照)

## ◆ ◆ 第4期役員選出 ◆ ◆

第4期の役員選出については、永田理事長より次の提案がされました。

「今期は役員改選期ではありません。異動につきましては窪田理事が初年度は監事、昨年度は理事としてご活躍いただきましたが、地元での活動が多忙のため退任の申し出がありました

又、大阪府地域福祉推進財団からは創立時は神尾理事長に理事に入っていただきました。昨年は本多課長に理事待遇の立場で種々アドバイスをいただきました。

今期につきましては、草川理事長に理事に就任をお願いいたします。

監事には、S A連協の皆様より当法人をよりご理解していただくためにも大阪府S A連協理事長をお願いしていますが、今期は佐藤氏に代わり大阪府S A連協新理事長の和佐氏の就任をお願いいたします。」

上記の提案に基づき採決されましたが、異議なく下記の新役員が承認されました。

第3期「現在の役員」		第4期「新役員」	
理事（顧問）	久保 昌之	理事（顧問）	久保 昌之
理事（理事長）	永田 得祐	理事（理事長）	永田 得祐
理事（副理事長）	三田 進一	理事（副理事長）	三田 進一
理事（副理事長）	西川 龍夫	理事（副理事長）	西川 龍夫
理事（副理事長）	武内 信憲	理事（副理事長）	武内 信憲
理事	二葉 登代子	理事	二葉 登代子
理事	石井 定雄	理事	石井 定雄
理事	田中 暁子	理事	田中 暁子
理事	出口 恭一	理事	出口 恭一
理事	窪田 泰之	理事	大川 正彦
理事	大川 正彦	理事	島田 道子
理事	島田 道子	理事	草川 大造（新任）
監事	佐藤 宏一	監事	和佐 義顕（新任）

[退任] 理事 窪田 泰之 監事 佐藤 宏一（敬称略）



新理事 草川大造氏



新監事 和佐義顕氏

## ◆ ◆ 第 4 期 事 業 計 画 ◆ ◆

第 4 期事業計画について、次の如くに計画が説明されて承認されました。

## 1. 事業の実施方針（事業期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

【説明：理事長 永田 得祐】

- ① 「魅力あるイベント」の企画力を高め、新規イベントの開催を通じて会員の増加を目指す。
- ② 広報活動の強化で人材募集。
- ③ 大阪府高齢者大学の講座運営と諸行事への参加協力。
- ④ アクティブシニアがあふれる大阪構想事業への参加協力。
  - ・アクティブシニア機構運営会議に参画。
  - ・10/31（土）「アクティブシニアフェア 2009」企画委員会に参加協力。
  - ・シニアスタバイ支援事業の一環として「公開講座」の企画。
- ⑤ 活動拠点の確保と活用。（財）大阪府地域福祉推進財団内。



## 2. 事業の実施に関する事項

## 1) 大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業

【説明：理事 石井 定雄 事業部長】

## ◇ 大阪府立介護情報・研修センター組織改革

大阪府立介護情報・研修センターは、平成 18 年 3 月 31 日大阪府地域福祉推進財団が大阪府より指定管理者となり、大阪府立介護情報・研修センターの運営管理委託を受けていましたが、平成 21 年 3 月 31 日で指定管理者運営管理の覚書き締結が解除されました。

平成 21 年 4 月 1 日より、大阪府福祉部地域福祉推進室 直轄となりました。

特定非営利活動法人 シルバーアドバイザー・ネット大阪と大阪府立介護情報・研修センターとの委託業務に付きましては協議中です。

平成 21 年度の業務計画は、現在 大阪府立介護情報・研修センターと委託契約覚書および仕様詳細について協議中です。

大阪府立介護情報・研修センターは福祉用具説明員に、地域の校区福祉委員会および民生委員・児童委員会に大阪府立介護情報・研修センターを紹介する。府内に在住または通勤・通学者を対象として家庭介護講座を開催する。



## 2) おもしろ算数教室事業

【説明：理事 二葉 登代子 事業部長】

[内 容]

- ① 算数マジック・算数パズル・百升計算等を通し、楽しみながら以下の工夫・対応が求められている。
  - ・小学生には、論理的思考力・考える力、根気よく物事に取り組む力を、現在以上につけること。
  - ・高齢者には、脳の活性化を図り、十分に楽しんでもらうこと。
- ② この教室運営のために「サポーター養成講座」を開講する。
- ③ サポーターの活動の一環として「おもしろ算数パズル塾」を実施できる機会を、積極的にサポーターの方々に、探ってもらう。
- ④ 大阪府高齢者大学校での講座に向けて、サポーターと十分な打ち合わせを進めて、準備にあたりたい。



[講 座] 開催場所：大阪ボランティア協会 会議室等

- ① 「おもしろ算数教室」初・中・上級コースを、下記日時に実施予定。  
4, 9, 10, 11月と22年2, 3月に、各月の第2・第4金曜日
- ② 教室の受講者をいかに増すか、工夫をする。
- ③ 「サポーター養成講座」を5月と12月に実施し、サポーターの育成を図る。  
一方、サポーターの活動の場を広げたい。

[出前教室] 介護予防教室での要請に応じ、基礎編のパズルの作成が求められる。

## 3) 伝承おもちゃづくり府民塾事業

【説明：副理事長 三田 進一 事業部長】

- ・世代間交流のツールとして、日本の伝承おもちゃづくりの手法を教えながら共に楽しむ。

今期も大阪府福祉基金の助成金を得て、「おもちゃづくり府民塾」を開催し、高齢者と親子が一緒に共同作業として、また、子どもの作業を親が見守り、時にはフォローしながら、おもちゃづくりを楽しみ遊ぶことで、親子の「きずな」や、「ふれあい」を深めると共に、

子どもたちの高齢者に対する「敬意」、「思いやり」の気持ちを育む。

- ・実施予定回数 通期 12回 延べ 17日
- ・実施計画 府下の各自治体の関連団体、自治会、商店街、各種団体等主催の講座・研修会に講師派遣。自主事業（講座、イベント等の開催）の実施。





#### 4) 国際交流事業部

【説明：理事 出口 恭一 事業部長】

今期（第4期）は、例年通り、8月を除く毎月の運営委員会の開催を計画し日程表も決定しております。ただ、昨年度までは、谷町7丁目の大阪社会福祉会館を無料で使用させて貰っておりましたが、今期からは、有料の会議室を使用する事を余儀なくされるようです。出来得る限り経費が掛からないように努力をしますが、運営委員会の会場は一箇所に纏めることは無理の様子です。



今期事業といたしましては、減少する会員の確保・増員を図るために高齢者大学の在籍者の勧誘を図ります。また昨年度の実績をもとに、今後、益々、増加するとみられる在留外国人とスムーズに地域社会で共生出来るように、会員および一般の方々を対象に外国の文化・習慣・宗教等に関して例年通り、セミナーやイベントを計画し、実施して行きます。

また昨年度好評を博した英語落語の開催や、長年、継続しておりますUSJパーフォーマーによる大阪市港区の小学生を対象に「英語で遊ぼう」を今期も6月と11月に開催したいと考えております。それから、国際交流事業部として企画立案しても資金的問題から挫折せざるを得ない経験を払拭出来るように、助成金の情報を収集し、来期には申請出来るような準備もしたいと願っています。

#### ◆ ◆ 第4期収支予算 ◆ ◆

第4期収支予算は、大武佐世子会計担当より説明報告されました。  
この報告について、異議なく承認されました。（第4期収支予算：HP参照）

#### ◆ ◆ ホームページ（HP）紹介 ◆ ◆

HPは昨年7月にリニューアルされましたが、新規事業立ち上げの人材募集の為にHPを中心とした広報活動の更なる強化が求められています。

矢原朗子HP担当のパソコン操作で、会場よりURLに接続したプロジェクター投影画面で現在のHPについて、西川龍夫広報部長より掲載内容の個々の詳細説明がありました。

HP「会員広場」に会員の皆様の「活動報告」の投稿、又「イベント」情報連絡用としてのHPのご活用をお待ちしています。（URL：<http://sanetosaka.hp.infoseek.co.jp>）

#### 【編集後記】

「SA・ネット大阪ニュース」第5号は、「総会特集号」の内容でお届けいたしました。会員の皆様より、本紙への積極的な「投稿」を心からお待ち申し上げます。次号は前期事業の中間報告の内容で、10月中旬に発行の予定です。（広報部：西川）